

「おじちゃんせんせい、みてますか」

卒園児 小学一年生

「おじちゃんせんせい、だいだいだーいすき。いっぱい  
ありがとうございます。」

いま、ぼくは、このことばをおじちゃんせんせいにつた  
えたいです。

このほんは、ぼくのかよつていたほいくえんのせんせ  
いをもとにしたおはなしです。とてもだいすきなほんで、  
なんかいもなんかいもよんでいます。みんな、おじちゃ  
んせんせいのおひざがだいすきでいつもとりつこでした。  
おひざにすわると、あたたかくて、こころがほつとする  
からです。

けいたくんは、おひるねがきらいです。おかあさんがこ  
いしくなつてないでいると、おじちゃんせんせいは、  
「がまんせんでええぞ。おもいきりなけや。」

といつてずっとおんぶしてくれます。けいたくんは、きつ  
とうれしかつたとおもいます。おじちゃんせんせいのせな  
かは、あたたかくておちつくからです。ぼくだったら、  
「なかなかいで、はやくねなきい。」といつてしまふかもし  
れません。

けいたくんは、かけっこもにがてです。でもおじちゃん  
せんせいが、いっぱいおうえんしてくれたから、ゆうきを  
もらえてはしることができます。

このほんをよむとほいくえんのことをおもいだします。  
おじちゃんせんせいにあいたくなつて、ちよつとさみしく  
なります。おじちゃんせんせいは、びょうきでおそらにい  
つてしまつたからです。ぼくは、もう一ねんせいになりま  
した。おおきくなつたし、がんばっているすがたをみても  
らいたいです。そしておじちゃんせんせいのように、だれ  
にでもやさしくできるひとになりたいです。

「おじちゃんせんせい、これからもおそらのうえからおう  
えんしてね。ぼくね、ゆうきがでないときもあるんだけど、  
けいたくんみたいにあきらめないでがんばるからね。」

